

「まいづる魚まつり」に1万8千人



第30回の節目

京阪神など
観光客も定着

“くす玉割り”で魚まつりがスタート(9月29日 舞鶴水産流通センター)

第30回の「まいづる魚まつり」が、9月29日下安久地区の舞鶴水産流通センター事務所周辺で開催されました。残暑の厳しい日でしたが、取れたての魚介類をはじめ、“市民参加セリ市”や“本マグロ解体ショー”などのイベントを目標に、1万8千人が来場。笑顔で海鮮寿司を食べる家族づれや、両手に格安の新鮮な魚の入った袋を下げてご夫婦などが数多く見られました。催しの開始から30年以上を経る中、駐車場には京都のほか、大阪や神戸、滋賀ナンバーも多数あり、大勢の観光客が訪れる、市内有数のイベントになったことがうかがわれました。

目次

新舞鶴地方総監歓迎会を開く	2
第33期議員・役員の選任状況	
プレミアム付商品券事業が始まる	
令和元年度の通行量調査結果	3
京都府最低賃金が決まる	
「商工会議所福祉制度」のご案内	4、5
会員企業紹介(岡本建材)	6
新入会員企業紹介(多肉専科イロニカル)	
「海自カレー」見学ツアーを実施	7
舞鶴・綾部「創業塾」の開催案内	
ふるさと納税「返礼品」の募集	
インフォメーション	8